

公開シンポジウム

ハマーショルド元国連 事務総長の遺産 —その現代的意義について—

ダグ・ハマーショルド※1は戦後の多国間体制を築くことに貢献しました。彼は平和維持、民間人の保護、国際紛争を未然に防ぐための予防外交や軍縮といった分野においての慣例をつくったのです。その後、世界は非常に大きく変わりました。しかしながら、ハマーショルドのつくった慣例の多くは今日においてもなお有効です。

2017年
10月15日(日)
15:00-17:00

会場：長崎大学医学部
良順会館1F専齋ホール
(長崎市坂本1丁目12-4)

入場無料・事前申込不要
逐次通訳有

講師：マグヌス・ローバック氏 (駐日スウェーデン大使)



ジャーナリストとして活動した後、スウェーデン外務省に入省。外交官として、カイロ、パリに赴任し、1980年代には東京のスウェーデン大使館で報道広報担当官として4年間勤務。大使としてはベルギー、ブラジルに赴任し、日本には2014年の9月に赴任。
学歴：ヨテボリ大学(ジャーナリズム学科)、ウプサラ大学(ロシア語、東欧の政治)、ストックホルム大学(歴史学、哲学)

※1 ダグ・ハマーショルド
1905年スウェーデン生まれ。第二代国連事務総長(1953-1961)。平和維持活動を国連の任務として定着させるなど、国連強化に努め、1961年にノーベル平和賞受賞。1961年9月にアフリカでの航空機墜落事故で殉職。

お問い合わせ先

長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)
TEL:095-819-2164 Email:recna_staff@ml.nagasaki-u.ac.jp
URL:http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/

主催

長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)

共催

長崎大学多文化社会学部
核兵器廃絶長崎連絡協議会(PCU-NC)

会場案内



アクセス

【JR長崎駅から】
◇市内電車「長崎駅前」→(赤迫行き)→「大学病院前」下車
◇バス 「長崎駅前」→(8番系統)→「医学部前」下車
※駐車場に限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。